

農機 新社屋落成式を挙

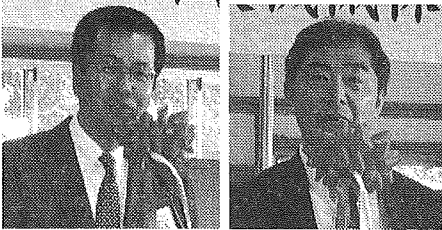
国内外から100人超が参席

日本農業発展への貢献誓う

エム・エス・ケー農業機械㈱ 北海道恵庭市戸磯193-8-2012 3(33) 3100・杉野俊樹社長は3日、新社屋完成落成式を新社屋にて執り行った。当日は団体やメーカー・商社をはじめ、本社社員など国内外から100人超が参席し、同社の門出を祝った。池袋旧本社と上尾事業所の機能を全面的に移管した新本社は、札幌支社のある敷地を拡張。展示ルームのある新社屋と既存棟が繋がる工場棟を完成させ既に8月17日より営業開始した。拠点を大規模集約化著しい北海道に移転したことで、より視点は農業現場に近く、また人・物の流れの効率化などの実現により、集約化が進む日本農業に貢献し続ける同社への期待は高まる。

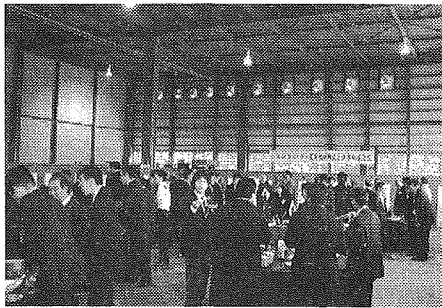


MFはじめ高性能農機柱に日本農業に貢献し続ける



東馬本部長 (三菱商事)

杉野社長



落成式の会場風景

冒頭、杉野社長が「この新社屋から全国5支社42営業所460人の社員が一丸となって日本全国のお客様によりよい製品とよりよいサービスを提供すること、日本農業発展に貢献したい。今後共にご指導ご鞭撻のほど宜しくお願いします」と日本語と英語で挨拶した。続いて来賓祝辞を恵庭市長の原田裕氏と(社)北海道農業機械工業会会長で(株)日イスター社長長田義雄氏、三菱商事(株)産業機械事業本部長の東馬圭一氏が来賓祝辞を述べた。

その中で細倉会長は「新社屋にける意気込みと団結心を強く感じると共に御社の北海道そして日本農業の発展への貢献と社業の発展を祈念しております」と述べた。

また東馬圭一本部長は「三菱商事は農業機械ビジネスを第二次世界大戦後間もない頃から輸入トラック販売を開始し50年以上に渡り世界レベルの高性能農機を輸入・供給・アフターサービスしてきた。国内農業を取巻く状況は厳しく成る中でユーザーの最も多い北海道を拠点にして新たなスタートを切ろうと移転を決断した。皆様のご支援を賜りながら企業発展すること、日本農業を弊社グループとしてしっかり貢献させていた

「新社屋にける意気込みと団結心を強く感じると共に御社の北海道そして日本農業の発展への貢献と社業の発展を祈念しております」と述べた。

り貢献させていた。引き続き「祝辞を述べた。それから設計監理を行なった(株)大建設設計社長の平田義秀氏と施工者の佐藤工業(株)副社長の島津良孝氏に感謝状贈呈を杉野社長が行うとともに、両氏から杉野社長に記念品が贈られ、両氏による挨拶が行われた。

そして乾杯の音頭を示し、農機協同組合連合会農機燃料自動車部長の阿部健三氏が行った後は歓談の時間となり、和やかな時間が流れた。最後に取締役営業担当役員林信正氏が中締めとして一本締めを行い会は閉会した。

【建物概要】

- ▽住所 恵庭市戸磯193-8
- ▽敷地面積 16978平方尺
- ▽建築面積 7596.33平方尺
- (新築6096平方尺、既存1500平方尺)
- ▽延床面積 9012平方尺
- ▽構造 鉄骨造2階建て
- ▽新築部分の用途 事務所、部品庫、製品庫、組立工場、研修工場

農機新聞 (平成24年9月11日)

恵庭市に新社屋が完成

エム・エス・ケー農業機械

本社機能を集約

日本農業活性化へ貢献誓う

エム・エス・ケー農業機械(株)(杉野俊樹社長)が、かねてより北海道恵庭市に建設を進めていた本社新社屋がこのほど完成。3日午前、本社で落成式を行った。これには地元の原田裕恵庭市長、北農工の細倉雄二会長(株)H I スター社長)、親会社の三菱商事(株)の東馬圭一産業機械本部長、AGCOの極東担当者をはじめ来賓、取引先ら約150名が出席した。杉野社長は、「本社を集約し、5支社、42営業所、460名の社員が一丸となって日本全国のお客様により良い製品、より良いサービスを届け、日本農業の活性化に貢献したい」と決意を披露した。

3日、150名出席し落成式

新本社は、恵庭市戸敷193番地8の現・道央支社敷地内に建設。敷地は既存の約1万平方メートル(3000坪)に加え、隣接地を新規に約7000平方メートル(2100坪)購入し、総面積は1万6978.3平方メートル。建築面積は新築が6096.48平方メートル、既存1499.85平方メートル、計7596.33平方メートル。延床面積は新築7390.32平方メートル、既存1621.83平方メートル、計9012.15平方メートル。構造は鉄骨造2階建て、新築部の主要用途は事務所、部品庫、製品庫、組立工場、研修工場。設計・監理は(株)大建設計札幌事務所、施工は佐藤工業(株)札幌支店が担当した。新本社は、「横のライオンを意識した」(設計事務所)とし、外壁のカラーにはダークグレーを採



挨拶する杉野社長



完成した新社屋 (外壁はダークグレーでシャープな印象)

用、全体としてシャープなイメージに仕上がっている。

当日は、落成式に先立ち1階の部品庫で修被式が行われ、杉野社長はじめ、原田市長、工事関係者らが玉串を奉奠した。落成式で挨拶した杉野



来賓祝辞を述べる細倉・北農工会長



来賓祝辞を述べる三菱商事・東馬本部長



謝辞に立つ林信正常務営業本部長

社長は、東京・池袋と埼玉上尾市にあった本社機能を60名の人員とともに移転・集約したとすうえて、移転に際し温かく迎え入れに尽力した恵庭市長はじめ市の関係者に謝意を表したあと、これを契機に「新本社から5支社42営業所、460名が一丸となって日本全国のお客様により良い製品とより良いサービスを届け、日本農業の活性化に貢献したい。引き続き、ますますのご支援をお願いしたい」と述べた。

来賓祝辞には原田市長、細倉会長、東馬本部長が立ち、原田市長は移転の英断を称え、恵庭は住みよい所といってもらえると自負していると述べた。

ホクレンの阿部健三農機燃料自動車部長の音頭で乾杯、祝宴に移った。

社長は、東京・池袋と埼玉上尾市にあった本社機能を60名の人員とともに移転・集約したとすうえて、移転に際し温かく迎え入れに尽力した恵庭市長はじめ市の関係者に謝意を表したあと、これを契機に「新本社から5支社42営業所、460名が一丸となって日本全国のお客様により良い製品とより良いサービスを届け、日本農業の活性化に貢献したい。引き続き、ますますのご支援をお願いしたい」と述べた。

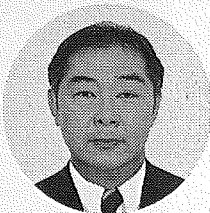
東馬本部長は、三菱商事の輸入トラクタビジネスの歴史を紹介した後、農業を取り巻く環境と将来を見据えて、このたび移転し新しいスタートを切ったとし、食料基地・北海道で思い切り仕事ができることを楽しみにしていると述べた。

M S K
農業機械

北海道恵庭市に本社移転

本社屋落成式開く

大型機のメイン市場充実



杉野社長

エム・エス・ケー農業機械(杉野俊樹社長)はこれまで東京・池袋と埼玉・上尾に置いていた本社機能を、北海道恵庭市戸磯193-8)の敷地を拡充し、新社屋を建設。その「新社屋落成式」を9月3日開催、関係者など120名が出席した。杉野社長は「本社移転を機に全社一丸となって製品・サービスの質を更に向上させていく」と挨拶した。

エム・エス・ケー農業機械の新社屋は敷地面積1万6978・30㎡。建物面積7596・33㎡(新築6096・48㎡、既存1499・85㎡)、延べ床面積9012㎡

(新築7390・32㎡、既存1621・83㎡)。鉄骨造2階建て。新築部分の主要用途は、事務所・部品庫・製品庫・組立工場・研修工場。すでに8月17日から新社屋で業

務を開始しており、フェントやマッセイファーカーソントラクタをはじめ、海外から高性能な農業機械を輸入販売してきた同社は今後、大型農業機械ニーズが高まる北海道の

地で、より質の高いサービス体制を構築して顧客満足度の向上を図っていく。

落成式では建築主挨拶として杉野俊樹社長が壇上に立ち、本社移転に対して温かく迎えていただいた原田恵庭市長をはじめ、関係者に感謝の意を述べた。



エム・エス・ケー農業機械の新社屋



落成式で挨拶する杉野社長

祝 エム・エス・ケー農業機械株式会社本社屋落成

「この恵庭市に移ってこられたことを大変歓迎している。貴社の更なる発展のため、市もできる限り対応していきたい」とバックアップを約束した。

また、北農工細倉会長は「この移転に際して池袋と上尾の従業員のほぼ100%の方々が移ってこられたと伺っている。こうしたことから新会社での業務にかける意気込み・団結の強さを感じられる。この地で同社の益々の社業発展を祈念申し上げたい。更に、北農工会長の立場から、これまで賛助会員として支えていただいた貴社が、北海道農業発展のため北農工会員各社の製品を今まで以上に売っていただきたい」とエールを送った。また、「この新社屋から全国5支社、42営業所、460名の社員が一丸となり、日本全国のお客様により良い製品とサービスをお届けし、日本農業の発展に貢献していきたい」と挨拶した。